地上デジタルハイビジョン液晶テレビ

# PRODIA 取扱説明書

型番 PRD-LF116B





このたびは、地上デジタルハイビジョン液晶テレビ「PRD-LF116B」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、本書およびセットアップガイドは、保証書と一緒に大切に保管してください。

# 安全上のご注意

ご使用時は、以下の項目を守ってください。

## ⚠警告　火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

### 行為を指示する項目

**以下の場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

- 故障している
- 異音、異臭、煙が出ている
- 本製品の表面が破損した

火災、感電、故障の原因になります。

修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

**本製品に付属の電源ケーブルを使用する**

火災や感電、故障の原因になります。
電源ケーブルが破損したときは、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

**何か異常が起こったときに、すぐに電源プラグを抜けるよう設置する**

火災の原因になります。
修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

**電源プラグのほこりなどは、定期的に掃除する**

火災の原因になります。電源プラグはコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。

**電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す**

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因になります。

**屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する**

感電やけがのおそれがあります。
設置・工事は本製品のお買い上げ店または、電器店に相談してください。

**壁に取り付ける場合は、かならず専門業者に依頼する**

落下し、けがの原因になります。
工事は本製品をお買い求めいただいた販売店、または電器店に相談してください。

### 行為を禁止する項目

**本製品の表面が破損したときは、以下のことを守る**

- 電源プラグをコンセントから抜くまで、本製品に触らない
- 目や口に液晶を入れたり、ガラスの破片に触らない

けが・中毒・かぶれの原因になります。もれた液晶が誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

**本製品の分解や改造、修理などは絶対にしない**

火災や感電、故障の原因になります。修理は弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

**振動や衝撃がある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない**

転倒または落下し、故障やけがの原因になります。

**本製品の上にものを置いたり、本体の通風孔をふさがない**

内部温度が上昇したり、液体や金属類が内部に入ると、火災・感電・故障の原因になります。

**乗り物の中や船舶の中などで使用しない**

転倒して、けがの原因になります。

**日本国外で使用しない**

故障の原因になります。

**本製品の内部に指や物を入れない**

けがや感電、故障の原因になります。

**本製品を水につけたり、濡れた手で触れない**

感電や故障の原因になります。

**雷鳴が聞こえたときは、本製品に触れたり使用しない**

感電の原因になります。

**コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない**

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

**本体や電源ケーブルを熱器具に近づけたり、破損させたりしない**

火災・感電の原因になります。

**電池が液もれしているときは、素手で触らない**

皮膚の炎症や失明の原因になるおそれがあります。電池からもれた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

## ⚠注意

感電・その他事故などにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与える可能性がある内容です。

### 行為を指示する項目

**小さなお子様の手が届かない場所に設置する**

けがの原因になります。

**内部の掃除はお買い上げ店に依頼する**

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3 年に 1 度は内部の掃除をお買い求めいただいた販売店にご依頼ください。

**長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**

電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因になります。

**電池の取り扱いは以下のことを守る**

- 単4形(1.5v)以外の電池は使用しない
- 正しい極性(+/−)でセットする
- 使用推奨期限が過ぎた電池や、使い切った電池は使用しない
- 種類の違う電池、新しい電池と使用した電池を併用しない

液もれや破裂などによって、やけど・けがの原因になります。

**本製品を運ぶときは、以下のことを守る**

- 接続されているケーブル類をすべてはずす
- 衝撃を与えないように運ぶ

転倒または落下し、故障やけがの原因になります。

**適度な音量で楽しむ**

周囲の人の迷惑とならないよう、適度な音量でお楽しみください。
ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

**適度な距離で、部屋を明るくして見る**

視力が低下するおそれがあります。

### 行為を禁止する項目

**液晶画面に物をぶつけない**

液晶が割れて、けがの原因になります。

**液晶画面を指などで強く押さない**

液晶が割れて、けがの原因になります。

**直射日光が当たったり、極度に温度が高い場所に置かない**

火災・故障の原因になります。

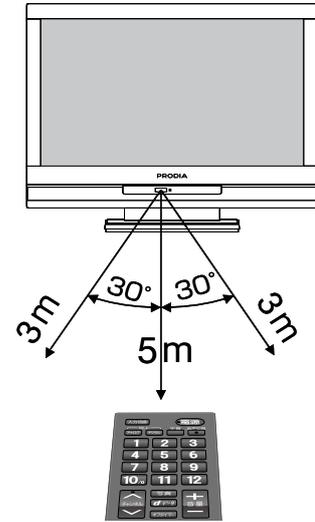
**風通しが悪い場所や 、引火の恐れがある場所に置かない**

内部温度が上昇し、火災・故障の原因になります。

**ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない**

火災・感電の原因になります。

## 受光部

リモコンの信号を受信します。
受光範囲内で操作してください。

| 正面 | 約5m |
|---|---|
| 上 30° | 約3m |
| 下 30° | |
| 左 30° | 約3m |
| 右 30° | |

## 電源ランプ

本機の状態を示します。
電源ランプは正面から見てください。

| ランプの光り方 | 本機の状態 |
|---|---|
| 消灯 | 電源ケーブルが接続されていません |
| 赤 | 待機中（電源 / 切） |
| 緑 | 視聴中（電源 / 入） |
| オレンジ / 緑（点滅） | 内部処理中 |

背面

## 電源

本機の電源を入 / 切します。

## 入力切換

入力を切り換えます。
入力先一覧が画面に表示されます。
※ メニュー画面のときは決定ボタンになります。

## メニュー

メニュー画面を表示します。

メニュー画面 P.12

## チャンネル

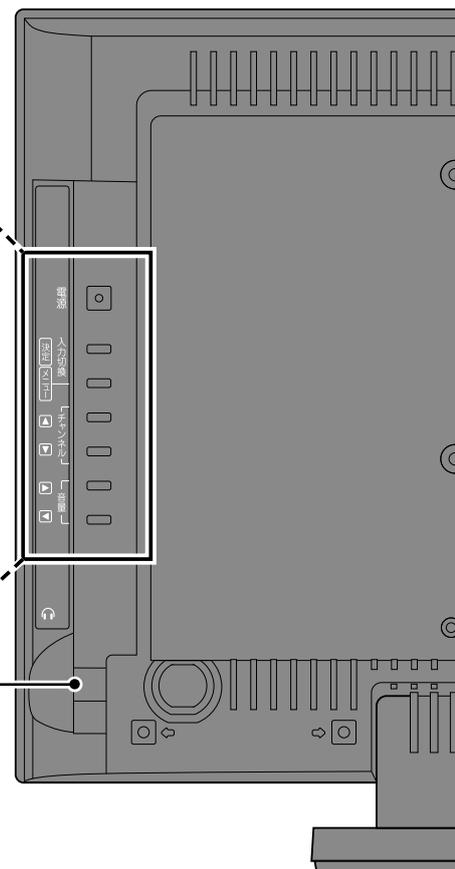
チャンネルを昇順 / 降順に切り換えます。
※ メニュー画面内では上下ボタンになります。

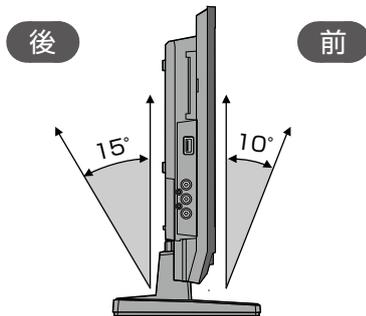
## 音量

音量を調節します。
※ メニュー画面のときは左右ボタンになります。

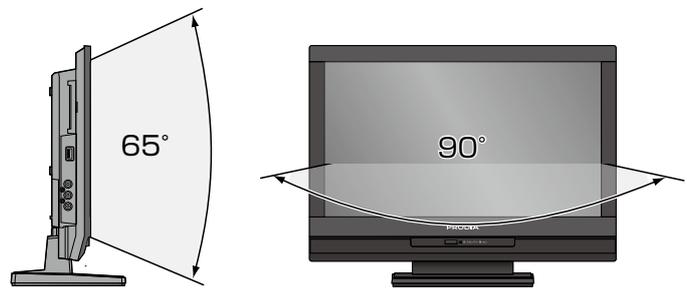
## 音声出力（ヘッドホン端子）

ヘッドホン（市販品）を接続します。

外部機器を接続する P.29

## チルト角

前 10°後ろ 15°まで傾きます。

## 視野角

上下 65°左右 90°の範囲内で視聴してください。

画面の見え方には個人差があります。

### HDMI 入力 1・HDMI 入力 2

HDMI 出力端子を搭載したパソコンや外部機器を接続します。

外部機器を接続する P.28

### パソコン入力（RGB 入力端子）

パソコンを接続します。
パソコンからの映像をディスプレイケーブルで、音声をミニステレオ音声ケーブルで接続します。

パソコンモニターとして使う P.26

### アンテナ入力（地上デジタル / アナログ）

アンテナ線を接続します。
地上デジタル放送とアナログ放送を 1 本のアンテナ線で受信します。

※ 地上デジタル放送とアナログ放送の端子が分かれている場合は、混合器を使用してアンテナ線を 1 本にまとめてください。

※ アナログ放送は 2011 年 7 月 24 日に終了する予定です。

### B-CAS カード挿入口

付属の B-CAS カードを挿入します。

### USB 入力

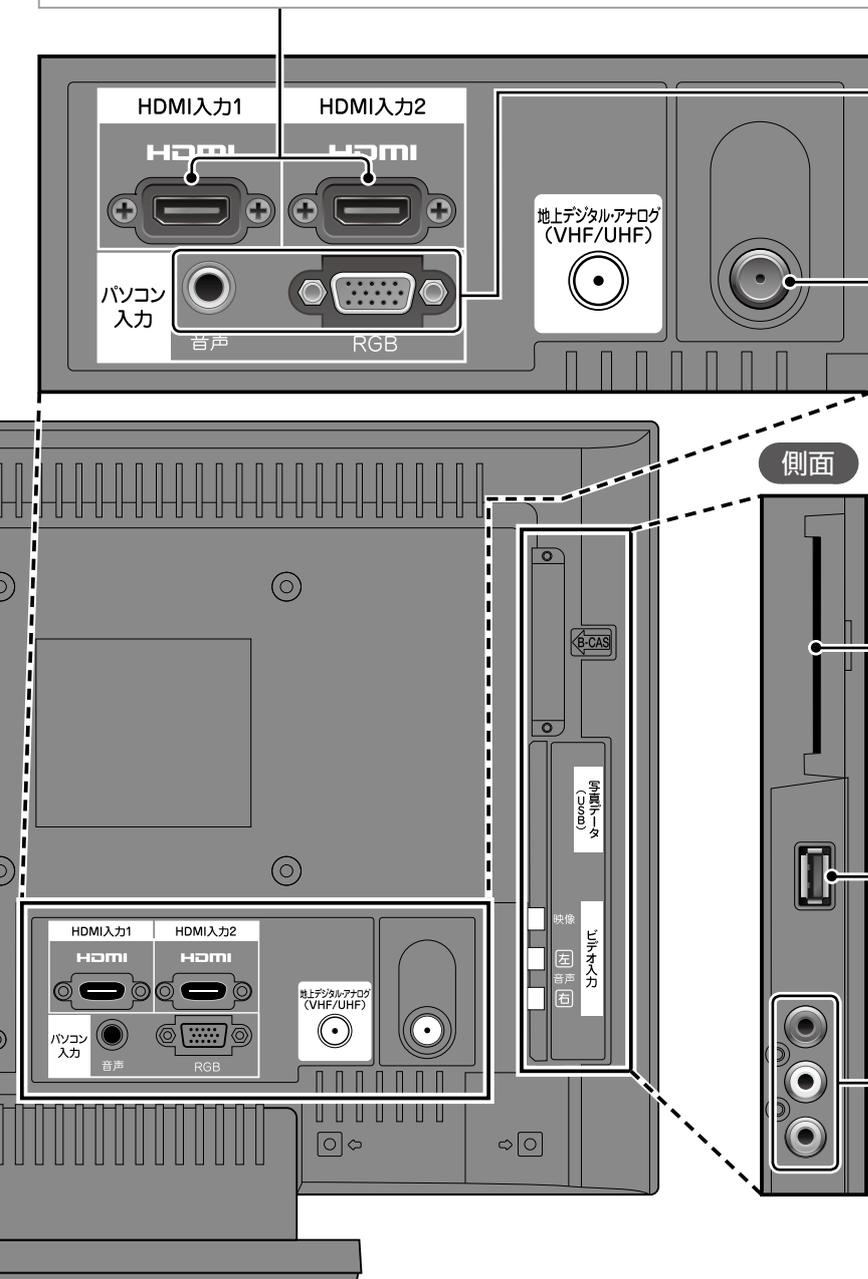
カメラやフラッシュメモリーなどの USB 機器を接続します。本機で写真を見るときに使います。

写真を見る P.24

### ビデオ入力（映像 / 音声）

コンポジット出力端子を搭載した外部機器を接続します。

外部機器を接続する P.28

※ アンテナ線および外部機器との接続ケーブルは別途用意してください。

# リモコンボタンの機能一覧（基本機能）

## 基本操作

### 入力を切り換える

画面を外部機器からの入力に切り換えます。入力の一覧が画面に表示されます。

### 放送波を切り換える

アナログ でアナログ放送に切り換えます。

デジタル で地上デジタル放送に切り換えます。

### 番組の情報を表示する

チャンネル番号、放送局名、番組名などが画面上に表示されます。もう一度押すと表示が消えます。

リモコン番号／チャンネル番号／放送局名／現在日時

番組の音声種別

お知らせアイコン（P.22）

番組名／放送時間／画面比率／画質

## 便利な機能

### 写真 写真を見る

本機にカメラやフラッシュメモリーなどの USB 機器をつないで、写真を見ることができます。

写真を見る P.24

### オフタイマー オフタイマーを設定する

一定時間後に自動的に電源を切ることができます。ボタンを押すたびにオフ /30 分 /60 分 /90 分 /120 分 /180 分の順番で切り換わります。

### 省電力 消費電力を抑える

省電力モードをオン／オフにします。画面が少し暗くなりますが、消費電力を抑えることができます。

### 静止 画面を静止する

視聴中の映像を静止します。メモを取るときなどに便利です。もう一度押すと解除されます。

※ 静止中でも番組は進行しています。

※ d データ については P.8 を参照してください。

このほかにも、地デジ特有の機能があります。くわしくは次のページを参照してください。

### 電源を入れる／切る

本機の電源を入 / 切します。

### チャンネルを切り換える

1 ~ 12 で割り当てられたチャンネルに切り換えます。

で昇順 / 降順で切り換えます。

リモコンボタンの割り当て変更 P.21

### 音量を調節する

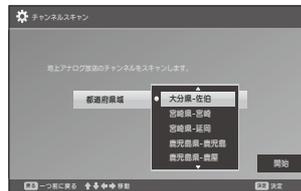
で音量の大小を調節します。

消音 で音を消します。もう一度押すと解除されます。

## 画面上の操作

### 画面上の項目を選ぶ・決める

メニュー画面や番組表などで、選択項目の移動と決定に使用します。上下左右の矢印を押した方向に選択中の項目が移動します。 決定 を押すと、選択中の項目を実行します。

現在選択している項目が黄色になります。

項目の中にさらに選択肢がある場合は、左図のようにサブメニューが表示されます。

### メニュー画面を表示する

テレビの設定を変更したり、情報を確認したりするための画面を表示します。

### 前の画面に戻る

メニュー画面や番組表などで、前の画面に戻ります。

# リモコンボタンの機能一覧（地デジの機能）

## 字幕を表示する

番組に字幕が含まれている場合、字幕を切り換えます。

## 音声を切り換える

番組に複数の音声が含まれている場合、音声を切り換えます。

## 裏番組を確認する

他のチャンネルで現在放送されている番組を一覧で見ることができます。

リモコンの番号ボタン

対応するリモコンの番号ボタンを押すか、番組を選んで 決定 を押すと、選んだ番組に切り換わります。

## データ放送を見る

データ放送を表示します。もう一度押すと表示が消えます。

※ 放送局や番組によって表示される内容が異なります。

## データ放送の画面を操作する

方向ボタンで項目を選んで、  で実行します。

番組によっては、  や 青  赤  緑  黄 のボタンを使用します。

## 番組表を見る

画面上で番組表を見ることができます。現在から７日先までの番組表が表示されます。

番組を選んで 決定 を押すと、番組の詳細情報が表示されます。

# 番組表を使う

## 番組表を表示する

番組表 を押すと表示されます。もう一度押すと表示が消えます。

番組表に情報が表示されていない場合は、P.11 の方法で番組表を取得してください。

リモコンボタンの機能一覧(地デジの機能)　P.8

## 番組表の基本操作

### 翌日の番組表を表示する

を押します。

当日から７日先までの番組表を表示できます。

### 前日の番組表を表示する

を押します。

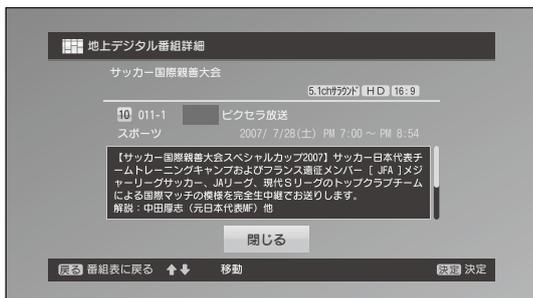
当日の番組表が表示されている場合は、現時刻の番組表が表示されます。

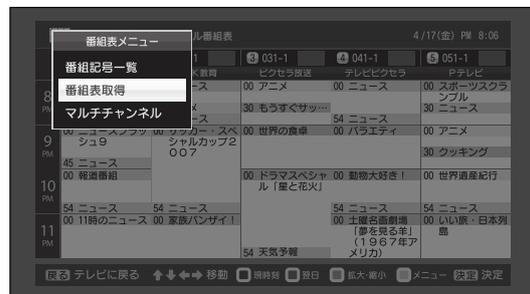
### 表示を拡大／縮小する

を押します。

押すたびに表示サイズが切り換わります。

### 番組の詳細を見る

番組を選んで 決定 を押すと､番組詳細の画面が表示されます。

### 番組表メニュー

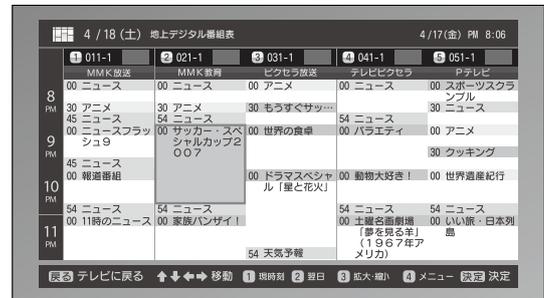
を押します。

以下の操作ができます。

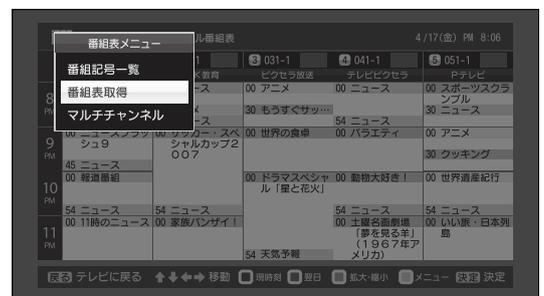
| | |
|---|---|
| 番組記号一覧 | 番組表で使われている記号の説明を表示します。 |
| 番組表取得 | 最新の番組表を取得します。<br>最新の番組表を取得する　P.11 |
| 代表チャンネル / マルチチャンネル | デジタル放送では、１つの放送局に複数のチャンネルが割り当てられています。<br>番組表ですべてのチャンネルを表示(マルチチャンネル)にするか、各放送局の先頭の１チャンネルだけを表示(代表チャンネル)にするかを切り換えます。 |

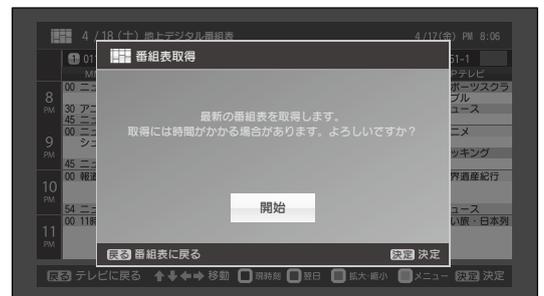
## 最新の番組表を取得する

番組表を押しても、番組表に番組が表示されない場合や、情報が古い場合は、次の方法で最新の番組表を取得してください。

*1.* 番組表を押します。

➡ 番組表画面が表示されます。

*2.* 黄 を押します。

➡ 番組表メニューが画面左上に表示されます。

*3.* [番組表取得]を選んで 決定 を押します。

➡ メッセージが表示されます。

*4.* 決定 を押します。

➡ 番組表の取得が開始されます。

※ 時間がかかる場合があります。

# メニュー画面

## メニュー画面を表示する

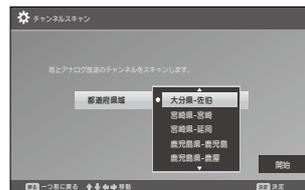
メニュー を押します。もう一度押すと表示が消えます。

## メニュー画面の基本操作

### 項目を選ぶ

 の上下左右の矢印で選びます。

選択中の項目が黄色になります。

### 選んだ項目を実行する

 を押します。

項目の中にさらに選択肢がある場合は、左図のようにサブメニューが表示されます。

### 前の画面に戻る

 を押します。

### 数字を入力する

 を押します。

「0」を入力するときは、10/0 を押します。

### メニュー画面を消す

# 設定項目一覧

メニュー画面では、以下の設定や情報の確認ができます。

| 項目 | | | 内容 | 参照 |
|---|---|---|---|---|
| **映像設定** | | | | |
| 画質設定 | | | 画面の色や明るさなどを調整します。 | P.14 |
| **音声設定** | | | | |
| 音質設定 | | | 高音、低音、左右のスピーカーの出力バランスを調整します。 | P.16 |
| スピーカー出力 | | | テレビ本体のスピーカーからの音声出力をオン／オフにします。 | — |
| **デジタル設定** | | | | |
| 受信設定 | 地域設定 | | データ放送で表示する地域情報を郵便番号で指定します。 | P.20 |
| | チャンネル設定 | チャンネルスキャン | チャンネルを再スキャンします。<br>※ 取得済みのチャンネル情報と番組表が消去されます。 | P.18 |
| | | リモコンボタン割り当て | リモコンの番号ボタンにお好みのチャンネルを割り当てます。 | P.21 |
| | アンテナ設定 | | 受信レベルを表示します。 | P.19 |
| | 簡易テスト | | B-CAS カードが正常に動作しているかどうかをテストします。 | P.20 |
| お知らせ | 本機からのお知らせ | | 本製品のソフトウェアの更新に関してのお知らせを確認します。<br>※ ソフトウェアの更新は自動で行われます。 | P.22 |
| | 放送局からのお知らせ | | 放送局からのお知らせを確認します。 | |
| 機器設定 | 機器情報 | | 本製品のソフトウェアのバージョン情報と、B-CAS カードの情報を確認します。 | — |
| | デジタル放送設定 | 字幕切換 | 字幕表示の設定を切り換えます。 | |
| | | 映像切換 | 複数の映像が含まれる番組で映像を切り換えます。 | |
| | | 文字スーパー | 文字スーパーの設定を切り換えます。<br>※ 文字スーパーとは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報のことです。 | |
| | | 緊急放送自動切換 | 視聴中に緊急の放送を受信した場合、自動的に切り換えるかどうかを設定します。<br>※ 緊急の放送とは、地震など大規模災害が発生したときや、津波警報が発令されたときなどに放送される災害報道（緊急警報放送）のことです。 | P.22 |
| **その他機器設定** | | | | |
| 省電力 | | | 省電力モードをオン／オフにします。<br>[ オン ] にすると消費電力を減らすことができますが、画面が若干暗くなります。 | — |
| HDMI1 音声入力 | AV 機器モード | | HDMI 入力の音声を HDMI ケーブルから入力します。 | P.17 |
| | PC モード | | HDMI 入力の音声をパソコンのミニステレオ音声ケーブルから入力します。 | |
| 設定初期化 | | | すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。 | P.23 |

※ 上記は、入力が [ 地上デジタル ] の場合の設定項目です。アナログ放送や外部入力の画面を表示しているときは、上記の設定項目を選べない場合があります。

※ アナログ放送のときは、[ デジタル設定 ] が [ アナログ設定 ] になります。[ アナログ設定 ] では、[ チャンネルスキャン ]（P.18）と [ リモコンボタン割り当て ]（P.21）ができます。また、[ その他機器設定 ] に [ 画面モード ](P.15）が追加されます。

※ [ 映像設定 ] の [PC 画面調整 ]（P.27）は、入力が [PC] または [HDMI] の場合のみ使用できます。

# 映像の設定

## 画質の調整

*1.* 画質を変更する放送波または入力に切り換えます。

*2.* 

を押します。

*3.* 以下の通り進みます。

映像設定
▼
画質設定

➡ 設定画面（右図）が表示されます。

*4.* [映像モード]を選んで 決定 を押します。

*5.* [カスタム]を選んで 決定 を押します。

あらかじめ用意されている画質モードを設定することもできます。

| | |
|---|---|
| ダイナミック | 鮮明でコントラストのある画像です。明るい部屋で見るときに適しています。 |
| スタンダード | 標準的な画像です。通常のテレビ番組の視聴や DVD 再生などに適しています。 |
| 映画 | 長時間の視聴に適した画像です。落ち着いた照明の部屋で見るときに適しています。 |
| カスタム | 画質をお好みで調整します。 |

*6.* 設定項目を選んで 決定 を押します。

以下の設定項目があります。

- バックライト
- 明るさ
- 黒レベル
- コントラスト
- シャープネス
- 色の濃さ
- 色あい
- 色温度
- ノイズリダクション

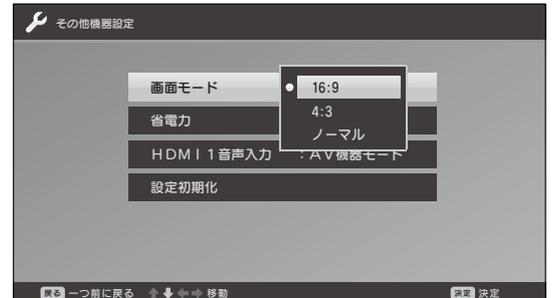
*7.* 設定を変更して 決定 を押します。

※ 設定項目によって操作方法が異なります。

##  画面サイズの切換

画面に対する映像の表示サイズを切り換えることができます。
※ この設定は地上デジタル放送では使用できません。

*1.* メニュー を押します。

*2.* 以下の通り進みます。

*3.* お好みのサイズを選んで 決定 を押します。

| | |
|---|---|
| 4:3 | 映像の画面縦横比を 4：3 に調整して表示します。<br>左右に黒い帯が表示されます。 |
| 16:9 | 映像の画面縦横比を 16：9 に調整して表示します。 |
| ノーマル<br>（入力が [PC] か [HDMI] の場合） | 映像の画面縦横比を保ったまま、引き伸ばして表示します。 |

※ 画面比率が 4：3 の映像を長時間表示すると 16:9 の映像を表示したときに画面の両側に輝度が異なる部分ができることがあります。

# 音声の設定

## 音質の調整

1. 音質を変更する放送波または入力に切り換えます。

2. メニュー を押します。

3. 以下の通り進みます。

音声設定
▼
音質設定

➡ 設定画面（右図）が表示されます。

4. [音声モード]を選んで 決定 を押します。

5. [カスタム]を選んで 決定 を押します。

あらかじめ用意されている音声モードを設定することもできます。

| | |
|---|---|
| スタンダード | オリジナルの音声に忠実な音声です。 |
| ミュージック | 高音・低音を強調した音声です。音楽を楽しむときに適しています。 |
| シアター | 迫力と音の広がり効果のある設定です。映画を楽しむときに適しています。 |
| カスタム | 音質をお好みで調整します。 |

6. 設定項目を選んで 決定 を押します。

以下の設定項目があります。

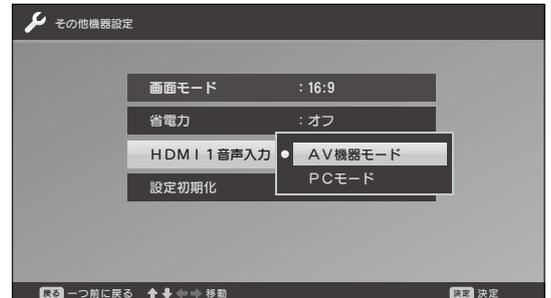
- 高音
- 低音
- バランス

7. 設定を変更して 決定 を押します。

##  HDMI 端子の音声入力設定

HDMI ケーブルで外部の機器を接続する場合、音声入力の方法を選ぶことができます。

1. メニュー を押します。

2. 以下の通り進みます。

3. 音声入力の方法を選んで 決定 を押します。

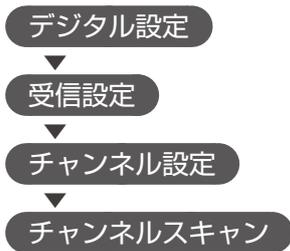
| | |
|---|---|
| AV 機器モード | 音声を [HDMI 入力 1] の端子から取り込みます。HDMI 端子を搭載した外部機器からの音声をデジタル品質で再現する場合はこちらを選んでください。 |
| PC モード | 音声を [ パソコン入力 ] の音声端子から取り込みます。<br>パソコンからの音声入力にステレオ音声ケーブルを使用する場合は、こちらを選んでください。 |

# 受信の設定

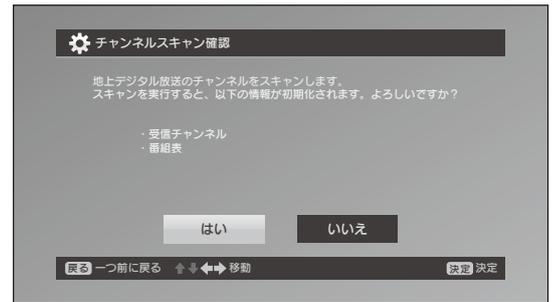
## 地上デジタル放送のチャンネル設定

引越しなどで受信する地域が変わったときは、チャンネルを再設定する必要があります。

1. デジタル を押します。
   ➡ 地上デジタル放送に切り換わります。

2. メニュー を押します。

3. 以下の通り進みます。

4. [はい]を選んで 決定 を押します。

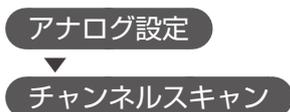
   ➡ チャンネルスキャンが開始されます。

   ※ 時間がかかる場合があります。

## アナログ放送のチャンネル設定

引越しなどで受信する地域が変わったときはチャンネルを再設定する必要があります。
※ アナログ放送は 2011 年 7 月 24 日に終了する予定です。

1. アナログ を押します。
   ➡ アナログ放送に切り換わります。

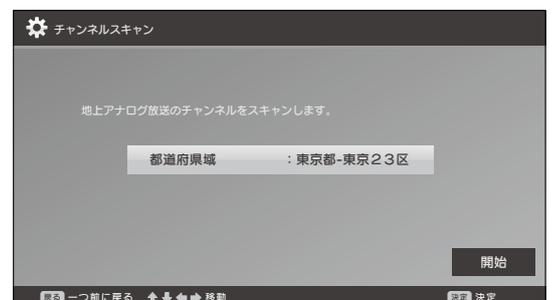
2. メニュー を押します。

3. 以下の通り進みます。

4. [都道府県域]を選んで 決定 を押します。

5. 受信する地域を選んで 決定 を押します。

6. [開始]を選んで 決定 を押します。

   ➡ チャンネルスキャンが開始されます。

   ※ 時間がかかる場合があります。

## 受信レベルの確認

チャンネルごとに、現在の受信状態を確認することができます。

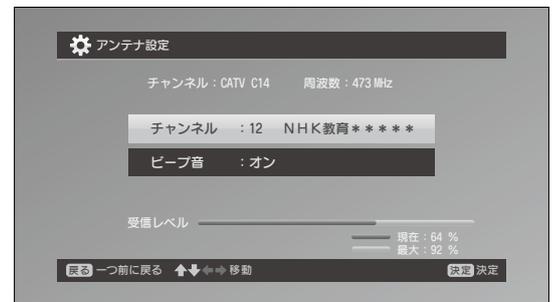
※ この機能は地上デジタル放送でのみ利用できます。

**1.** [デジタル] を押します。

➡ 地上デジタル放送に切り換わります。

**2.** 受信レベルを確認したいチャンネルに切り換えます。

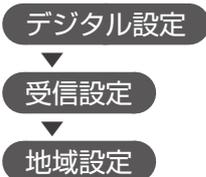
**3.** [メニュー] を押します。

**4.** 以下の通り進みます。

**5.** 受信レベルを確認します。

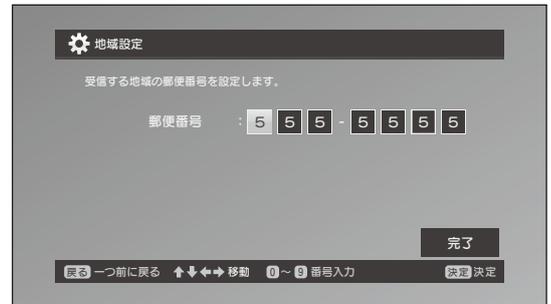
| | |
|---|---|
| チャンネル | 受信レベルを表示しているチャンネルです。<br>[決定] を押すと、受信レベルを確認するチャンネルを選びなおすことができます。 |
| ビープ音 | アンテナの設置時に、離れた場所から受信状態を確認するときに使います。[ オン ] にすると、現在の受信状態を音で知らせします。受信レベルが高いほど高い音が鳴ります。 |
| 受信レベル | 現在の受信状態です。60%以上が正常に受信できている目安です。 |

## データ放送の地域設定

データ放送で提供されている天気予報などの表示地域を変更することができます。

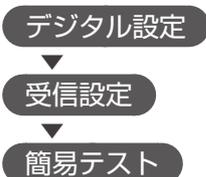
1. メニュー を押します。

2. 以下の通り進みます。

3. 1 ～ 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力します。

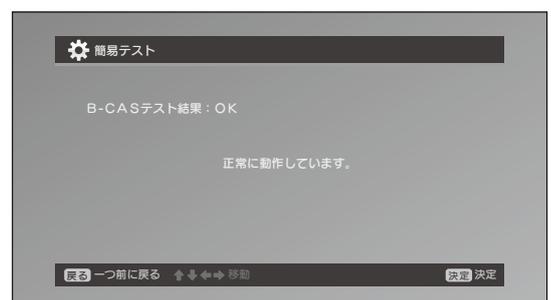
4. [完了]を選んで 決定 を押します。

## B-CAS カードテスト

B-CAS カードが正常に機能しているかを確認します。

1. デジタル を押します。
   ➡ 地上デジタル放送に切り換わります。

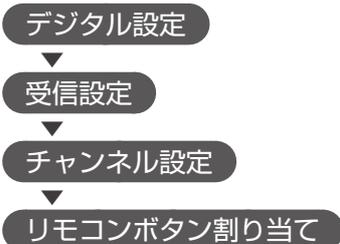
2. メニュー を押します。

3. 以下の通り進みます。

4. テスト結果を確認します。

   テスト結果が NG の場合は、エラーメッセージにしたがって、B-CAS カードをもう一度確認してください。

## リモコンボタンの割り当て変更

リモコンの番号ボタンにお好きなチャンネルを割り当てることができます。

1. メニュー を押します。

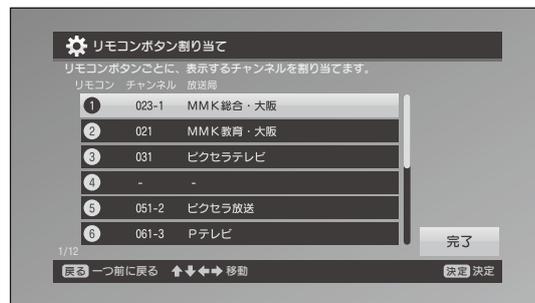
2. 以下の通り進みます。

※ アナログ放送の場合は、[ アナログ設定 ] の
[ リモコンボタン割り当て ] を選んでください。

3. 割り当てを変更したいボタンを選んで 決定 を押します。

➡ チャンネルの一覧が表示されます。

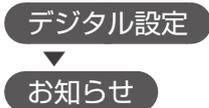
4. 割り当てるチャンネルを選んで 決定 を押します。

5. 必要に応じて手順3〜4を繰り返します。

6. [完了]を選んで 決定 を押します。

##  お知らせの確認

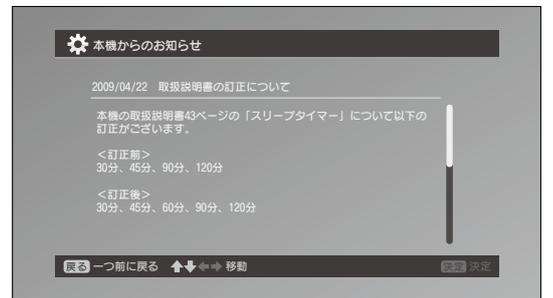
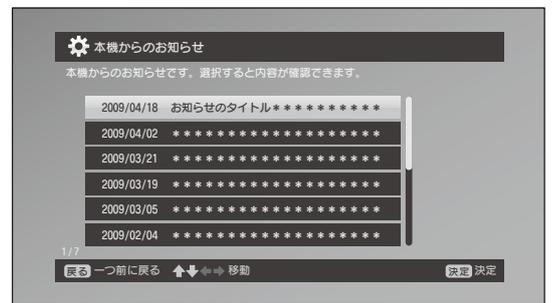
放送局からのお知らせや本機のソフトウェア更新情報を確認します。
※ この機能は地上デジタル放送でのみ利用できます。

1. メニュー を押します。

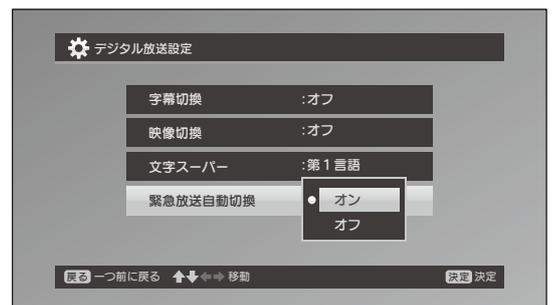
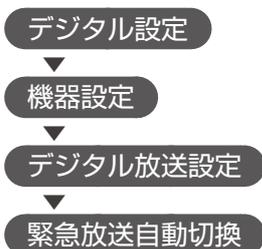
2. 以下の通り進みます。

3. お知らせの種類を選んで 決定 を押します。

| 本機からのお知らせ | 本機のソフトウェア更新情報です。<br>ソフトウェアの更新は自動で行われます。 |
|---|---|
| 放送局からのお知らせ | 放送局からのお知らせです。<br>周波数の変更情報などがあります。 |

4. 確認するお知らせを選んで 決定 を押します。

※ お知らせはそれぞれ 20 件まで保存されます。
20 件を超えると古いものから順番に削除されます。

## 緊急放送の設定

地震や津波などの大規模災害が発生した場合に送信される「緊急警報放送」を受信すると、自動的にチャンネルを切り換えるように設定することができます。

1. メニュー を押します。

2. 以下の通り進みます。

3. [オン] を選んで 決定 を押します。

##  設定初期化

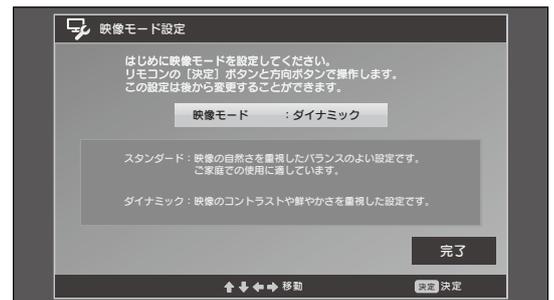
本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
チャンネルスキャンの結果や番組表、変更した設定がすべて破棄されます。

1. メニュー を押します。

2. 以下の通り進みます。

3. [はい] を選んで 決定 を押します。

➡ 初期化が開始されます。
初期化が完了すると、自動的に電源が切れます。

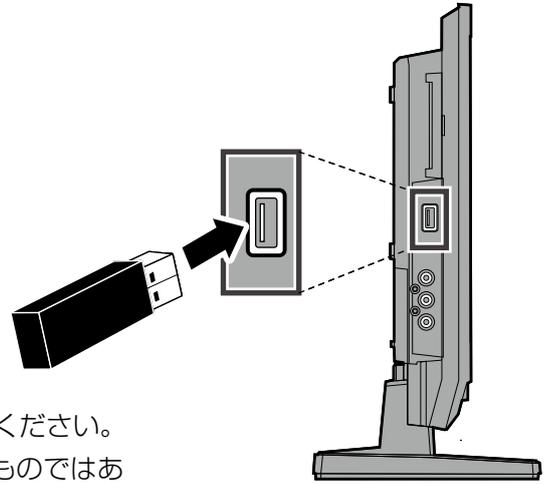
初期化後、はじめて電源を入れると、初回設定の画面が表示されます。セットアップガイドの手順にそって、初回設定を完了してください。

# 写真を見る

## 写真を表示する

USB フラッシュメモリなどに保存した写真を画面に表示することができます。

### 1. 本機のUSB入力にUSB機器を接続します。

| 再生できる画像ファイル | |
|---|---|
| 解像度（ピクセル） | 最大 5760 × 3240 |
| | 最小 16 × 16 |
| フォーマット | JPEG |

| 対応しているファイルシステム |
|---|
| FAT32 |

※ 接続する前にかならずデータのバックアップを取ってください。

※ この機能は、すべての USB 機器での動作は保証するものではありません。接続する機器によっては正常に動作しない場合があります。

※ 指紋認証などの USB 機器固有の機能には対応していません。

### 2. 写真 を押します。

➡ 写真の一覧画面が表示されます。

### 3. 表示したい写真を選んで 決定 を押します。

※ フォルダを選択している場合は、そのフォルダ内の画像一覧が表示されます。

※ 写真は元のファイルの画面比率で表示されます。画質の調整や画面サイズの変更はできません。

## スライドショーで見る

写真を連続して見ることができます。

### 1. 写真の一覧画面を表示します。

P.24 の手順で表示してください。

### 2. 最初に表示したい写真を選んで 決定 を押します。

### 3.「操作ガイド」が表示されている間に 決定 を押します。

➡ スライドショーが開始されます。

しばらくたつと、操作ガイドが消えます。もう一度表示するときは、 戻る を押してください。
スライドショーを終了するときは、操作ガイドが表示されている状態で、 決定 を押してください。

## スライドショーの設定

写真の一覧画面での表示順を決めたり、スライドショーでの 1 枚あたりの表示時間を設定することができます。

### 1. 写真の一覧画面を表示します。

P.24 の手順で表示してください。

### 2. 青 を押します。

➡ スライドショーの設定画面が表示されます。

### 3. 設定を変更します。

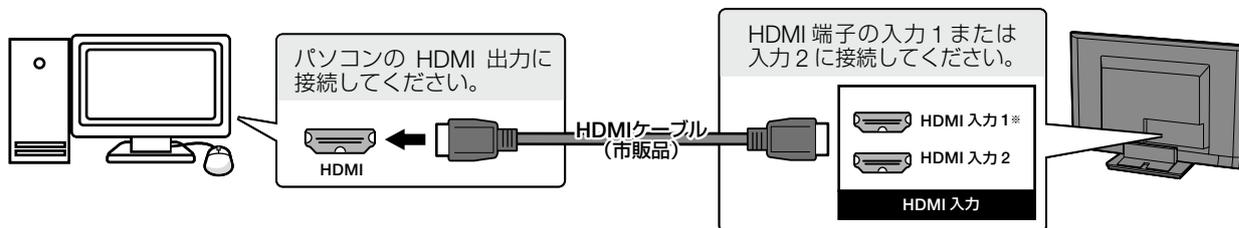
| | |
|---|---|
| 表示順序 | 写真の一覧画面の表示を、撮影日時または写真の名前（ファイル名）の昇順／降順に切り換えます。 |
| スライドショー再生速度 | スライドショーで 1 枚あたりに表示する時間を選びます。 |

# パソコンモニターとして使う

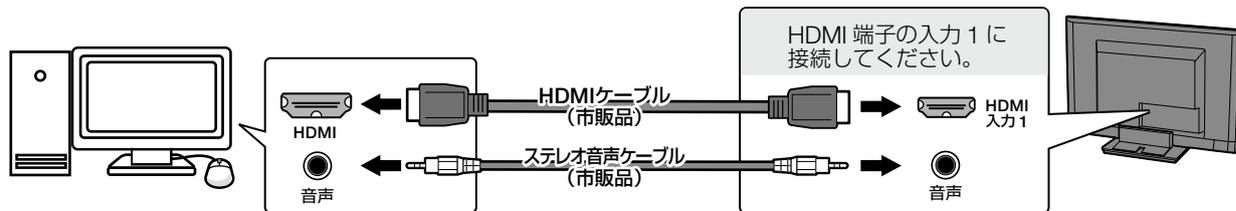
## パソコンの接続

接続には以下の 3 通りの方法があります。

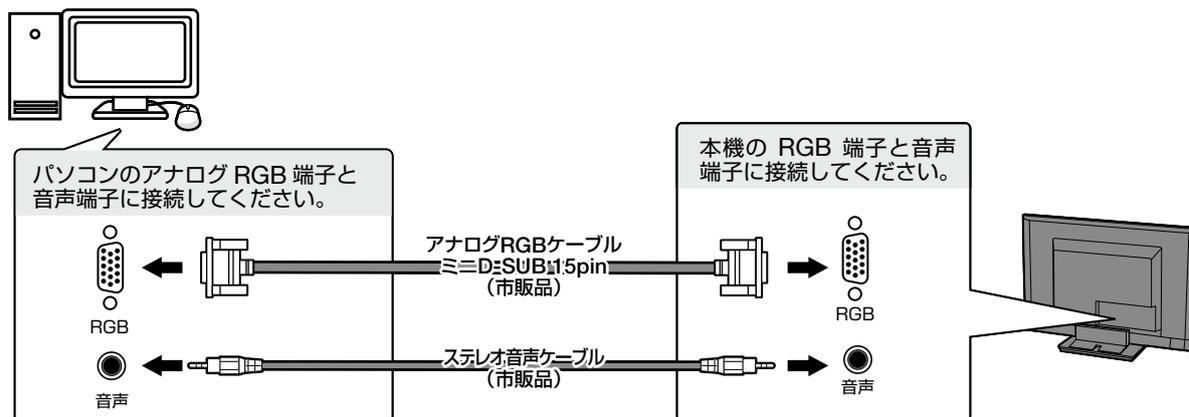
### HDMI ケーブル 1 本で接続する（映像・音声共通）

HDMI ケーブル 1 本でパソコンからの映像と音声を伝送します。

※ HDMI 入力 1 を使用する場合は、本機の [ その他機器設定 ] の [HDMI1 音声入力設定 ] を [AV 機器モード ] にしてください。

### HDMI ケーブルと音声ケーブルで接続する

HDMI ケーブルで映像を、ステレオ音声ケーブルで音声を伝送します。

※ HDMI ケーブルは、かならず入力 1 に接続してください。入力 2 では音声を個別に伝送できません。
また、本機の [ その他機器設定 ] の [HDMI1 音声入力設定 ] を [PC モード ] にしてください。

### アナログ RGB ケーブルと音声ケーブルで接続する

アナログ RGB ケーブル（ミニ D-sub 15pin）で映像を、ステレオ音声ケーブルで音声を伝送します。

| 対応解像度（60Hz） | |
|---|---|
| 1360 × 768 | 1024 × 768 |
| 1280 × 1024 | 800 × 600 |
| 1280 × 960 | 640 × 480 |
| 1280 × 768 | |

## 表示位置の調節

パソコンをアナログ RGB ケーブルで接続している場合、画面上の表示位置を調節できます。

1. 入力切換 を押します。

2. [PC]を選んで 決定 を押します。

   ➡ パソコンの入力に切り換わります。

3. メニュー を押します。

4. 以下の通り進みます。

5. 設定を変更します。

| | |
|---|---|
| 設定をリセットする | 下記の設定項目で変更した内容を破棄して変更前の状態に戻します。 |
| 自動調整 | 自動で最適な表示位置に合わせます。 |
| 水平位置の変更 | 画面の表示位置を左右に移動します。 |
| 垂直位置の変更 | 画面の表示位置を上下に移動します。 |

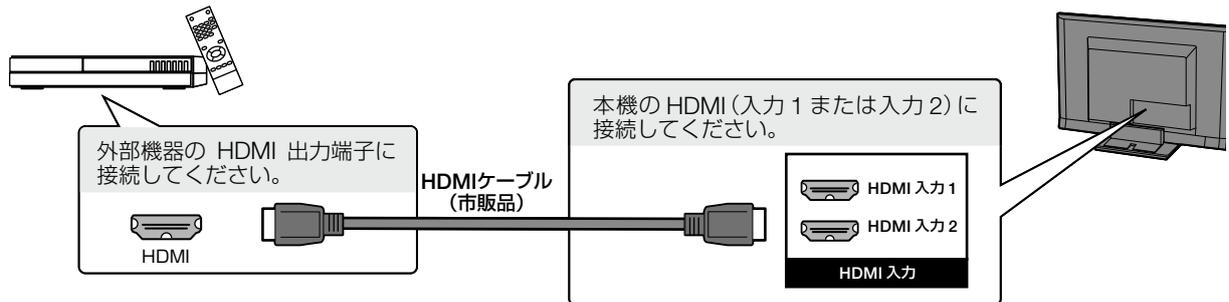
# 外部機器を接続する

ハードディスクレコーダーやゲーム機などの映像機器や、ヘッドホンを接続することができます。

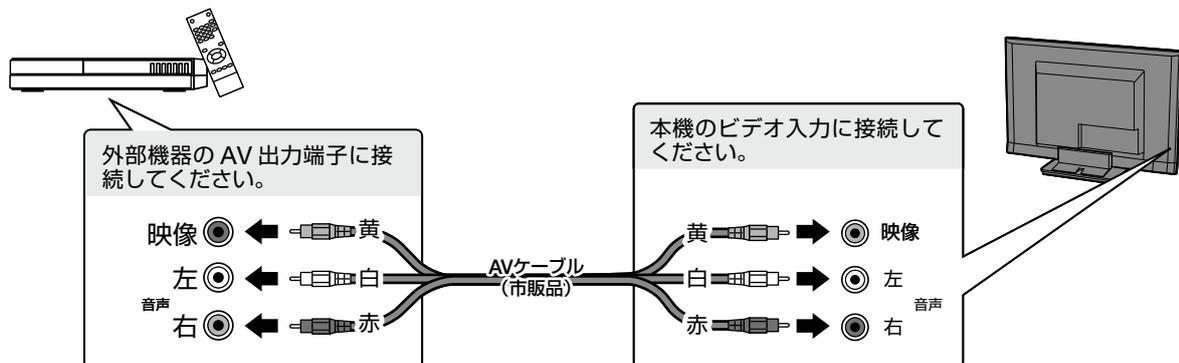
※ 下記は代表的な接続例です。接続する機器の取扱説明書もあわせて参照してください。
※ 接続する機器の方での設定が必要な場合があります。
※ コピーガードのかかっている映像は表示できない場合があります。

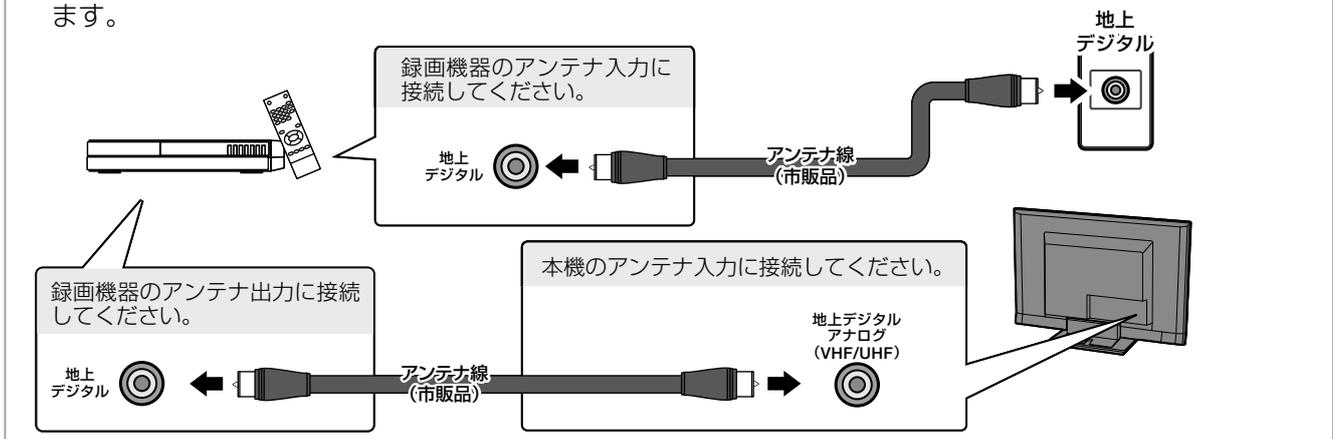
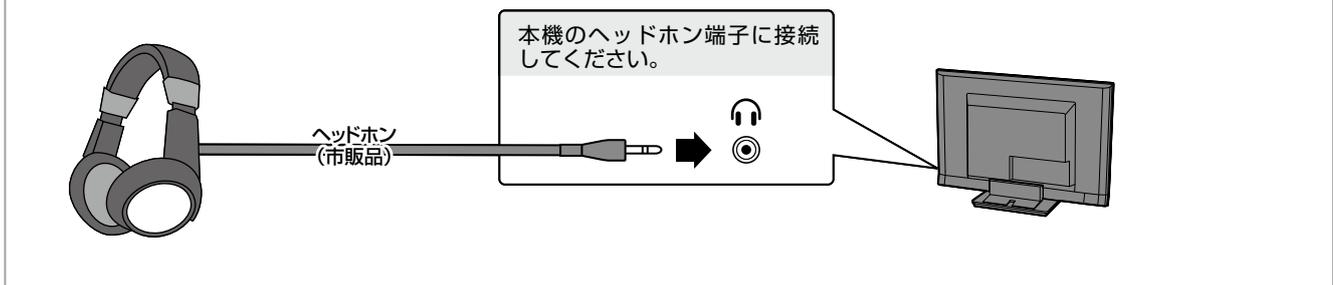
## HDMI ケーブルで接続する

HDMI ケーブル 1 本で外部機器からの映像と音声を伝送します。

※ 以下の接続をする場合は、本機の [ その他機器設定 ] の [HDMI1 音声入力設定 ] を [AV 機器モード ] に変更してください。
※ AAC の音声には対応していません。音声形式を切り換えられる機器の場合は、設定を PCM にしておいてください。

| 対応解像度 | |
|---|---|
| 1920 × 1080 i | 720 × 480 p |
| 1280 × 720 p | 720 × 480 i |

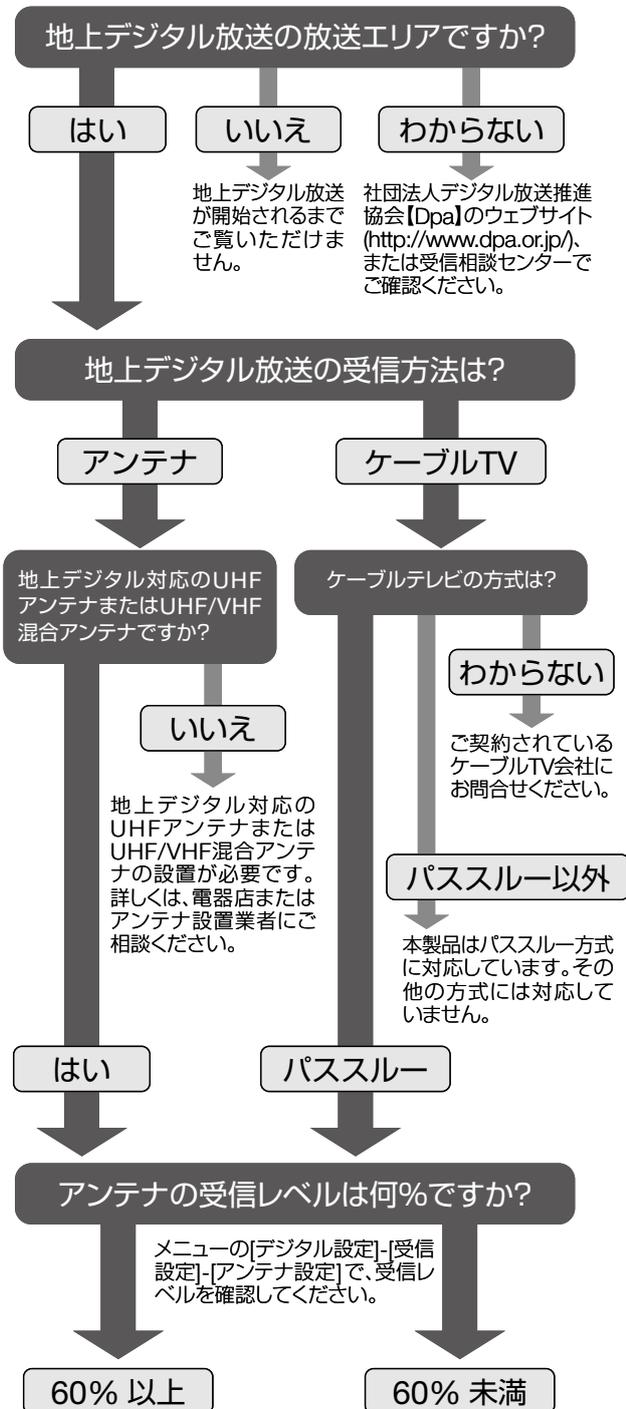
## AV ケーブルで接続する

※ 接続する機器の音声端子が 1 つしかない場合は、AV ケーブルの白か赤のどちらか一方を接続してください。この場合、音声は片側のスピーカーのみ出力されます。

## アンテナ線で接続する

アンテナ線で外部機器を経由して接続します。接続する機器が受信した放送波をそのまま本機に伝送します。

## ヘッドホンを接続する

# こんなときは？

## 映らない

### Q セットアップガイドの通りに接続・設定したが、地上デジタル放送が映らない

A 以下のフローチャートにそって対応してください。

### Q チャンネルスキャンに失敗する

A アンテナ線の接続や、分配・混合は、正しく行っていますか？

A お住まいの地域は地上デジタル放送の受信エリア内ですか？下記ウェブサイトを参考にしてください。

社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）
http://www.dpa.or.jp/

A 本機の設定を初期化してから、再度チャンネルスキャンをしてください。

設定初期化 P.23

### Q 特定のチャンネルが映らない

A 受信レベルを確認してください。
チャンネルの受信レベルが 60%よりも低い場合、正常に受信できない場合があります。お住まいのアンテナに問題がないか確認してください。

受信レベル P.19

A アナログ放送では見ることができた放送局が映らなくなった場合は、アンテナの設置方向などの問題が考えられます。お買い上げ店または電気店などにご相談ください。
※ 県外の放送局などは見られなくなる場合もあります。

### Q データ放送が表示されない

A データ放送に対応していない番組では表示されません。

A 読み込みに時間がかかっている場合があります。
しばらく待ってから、もう一度操作してください。

### Q 字幕や文字スーパーが表示されない

A 字幕に対応していない番組では表示されません。
また、文字スーパーは地震や災害などの速報に用いられることが多いため、常に表示されるものではありません。

## 映りが悪い・画面が止まった

### Q 映像が乱れる・止まる

A 荒天時は映像が乱れる場合があります。荒天時でなくても映像が乱れるときはアンテナに問題がないか確認してください。

A アンテナ線の接続を確認してください。また、アンテナ線のプラグの中にある芯線が折れていないかどうかも確認してください。

A 視聴中や待機中など、本製品が通電状態のときにB-CAS カードを抜きさしすると、放送波が受信できなくなります。この場合は、一度、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。

### Q 画面がきれいに見えない

A 視野角の範囲外では、画面が暗く見えたりします。

視野角 P.5

## Q 音は出るが、画面が止まったまま動かない

A 画面が静止していることが考えられます。を押してみてください。

## Q チャンネル番号が画面から消えない

A [画面表示]を押すと表示が消えます。

## Q 番組表が画面から消えない

A [番組表]を押すと表示が消えます。

## Q データ放送が画面から消えない

A [d データ]を押すとデータ放送を終了します。

## Q メニュー画面が消えない

A [メニュー]を押すと表示が消えます。

# 音が出ない

## Q テレビ本体のスピーカーから音が出ない

A 音声が極端に小さい、または消音になっていませんか？音量を上げる、または消音を解除してください。

A ヘッドホンをつないでいませんか？ヘッドホンをつないでいるときは、スピーカーから音声が出力されません。

A スピーカー出力の設定がオフになっていませんか？メニューの [ 音声設定 ]-[ スピーカー出力 ] を [ オン ] にしてください。

## Q パソコンや AV 機器からの音が出ない

A 音声ケーブルの接続を確認してください。

A HDMI ケーブルで接続する場合は、[HDMI1 音声入力設定 ] が接続した機器のモードになっているか確認してください。

HDMI1音声入力設定 P.17

# 動きがおかしい

## Q 電源を入れてもすぐに映像が表示されない

A 起動の準備のため時間がかかる場合があります。

## Q チャンネルの切り換えに時間がかかる

A 受信した信号を画面に表示する処理をしているため、チャンネルや入力の切り換えに時間がかかる場合があります。

## Q 電源ランプがオレンジ色で点滅する

A テレビの電源を切る処理をしています。この間、リモコンでの操作はできません。

## Q チャンネル番号がアナログ放送のときと違う

A 地上デジタル放送では、お住まいの地域や放送局によって、アナログ放送のチャンネル番号と割り当てが異なる場合があります。リモコンボタンの割り当てを変更できます。

リモコンボタンの割り当て変更 P.21

## Q チャンネルを順送りしたときの順番がおかしい

A 全国ネットに属さない放送局や他県の放送局などは、リモコンに割り当てられた番号と昇順 / 降順の順番が違う場合があります。

## Q リモコンを操作していないのに、チャンネルが切り換わる

A 赤外線機器やコンバーター機器が近くにあると、誤作動する場合があります。そのような機器からは、なるべく離して使用してください。

## Q 番組表に情報が表示されない

A お買い上げ後、はじめて使用する場合や、電源ケーブルがはずされていた場合は情報を取得できていません。番組表を更新してください。

最新の番組表を取得する P.11

# 付属品について

## Q B-CAS カードを紛失・破損・汚損した

A B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター

http://www.b-cas.co.jp/www/index1.html

[ 電話 ] 0570-000-250
[ IP 電話 ] 045-680-2868
[ 受付時間 ]10 時〜 18 時（年中無休）

## Q 保証書はどこにありますか？

A 本書と同じくビニール袋にまとまって入っています。

## Q アンテナ線が入っていない

A 本製品には付属していません。別途用意してください。

## PRD-LF116B　定格

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| 外形寸法 | スタンドを含む | 幅 38.4cm ×高さ 30.5cm ×奥行 14.4cm |
| | スタンド・<br>突起部含まず | 幅 38.4 cm ×高さ 27.2cm ×奥行 4.9 cm |
| 受信機型サイズ | | 16V 型 |
| 画面寸法 | | 幅 34.4cm ×高さ 19.4cm ／対角 39.5cm |
| 質量 | | 約 2.5 kg |
| 区分名 | | DI（FHD 以外、液晶ノーマル、付加機能なし） |
| 動作環境 | 使用時 | 温度 0 ～ 40° C<br>湿度 10 ～ 90% RH（結露なきこと） |
| | 保管時 | 温度 − 20 ～ 60° C<br>湿度 10 ～ 90% RH（結露なきこと） |
| 角度調節 | チルト | 前 10°　後ろ 15° |
| 液晶性能 | 縦横比 | 16：9 |
| | 解像度 | 1366 x 768 画素 |
| | 視野角 | 上下 65°　左右 90°（TYP）<br>※ コントラスト比 10：1 が確保できる角度 |
| 電源 | 使用電源 | AC 100V 50Hz/60Hz |
| | 消費電力 | 23 W |
| | 年間消費電力 | 27 kWh/ 年（スタンダード時） |
| | 待機電力 | 0.5 W 以下 |

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| 音声 | 音声出力 | 実用最大出力 2.0W ＋ 2.0W（JEITA） |
| | スピーカー | アンダースピーカー |
| 接続端子 | 電源ケーブル | AC100V 50Hz/60Hz |
| | アンテナ端子<br>(F 型コネクタ) | デジタル／アナログ× 1 系統<br>入力インピーダンス 75 Ω |
| | HDMI 入力 | 2 系統 |
| | ビデオ入力 | 映像：1 系統（RCA）<br>音声：L/R（RCA） |
| | パソコン入力 | 映像：1 系統 （ミニ D-Sub15pin）<br>音声：3.5 φ ステレオミニジャック |
| | USB 入力 | USB2.0（写真データ専用） |
| | ヘッドホン出力 | 3.5 φ ステレオミニジャック |
| 受信放送 | | 地上デジタルテレビジョン放送 (ISDB-T) |
| | | 地上アナログ放送 (NTSC-J) |
| | | ケーブルテレビ (C13 ～ C63) |
| リモコン | IR 受光部<br>受光角度 | 上 30°　下 30°　左 30°　右 30° |

※ 長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合があります。

※ 仕様および外観は、性能向上やその他の理由で、予告なく変更する場合があります。

※ 本製品は、社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。

### ■ 受信機型サイズについて

「16V 型」は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

### ■ 区分名について

「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素数、動画表示、および付属する機能の有無などに基づいて区分を行っています。その区分の名前です。

### ■ 年間消費電力について

省エネ法に基づいて、一般家庭での 1 日の平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

### ■ アナログ放送について

アナログ放送は2011年7月24日をもって終了する予定です。

### ■ 液晶画面について

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、画素欠けや常時点灯する画素を完全になくすことができません。画面上に常時点灯する点（輝点）や黒い点（滅点）がある場合がありますが、製品の不良ではないことをご了承ください。
- 長時間同じ画面を表示し続けると、部分的に消えない焼き付き（残像）が発生します。長時間同じ画面を表示することは極力避けてください。

### ■ B-CAS カードについて

- B-CASカードを紛失、破損などされた場合は、B-CASカスタマーセンター（下記）にお問い合わせください。
- 視聴中および待機中はB-CASカードの抜きさしをしないでください。B-CASカードを抜きさしするときは、電源プラグをコンセントからはずしてから行ってください。

### ■ 壁掛けについて

取り付け用の金具は付属していませんので、別途用意してください。また、取り付けるときは、かならず専門業者にご依頼ください。壁掛け金具の取り付けにより生じた直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いかねます。

### ■ 廃棄について

本製品または、本製品のパッケージ、緩衝材などを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例または規則に従ってください。

### ■ 本書について

- 本書で使用している画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書で使用している画像は、はめ込み合成です。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

お問い合わせ先


〒556-0011
大阪市浪速区難波中 2－10－70 パークスタワー 25F

本製品について困ったときは、弊社**ユーザーサポートセンター**にお問い合わせください。

0120-727-231（無料）

受付時間 10:00～18:00（年末年始と祝日を除く）

携帯電話をご利用の場合　ナビダイヤル 0570-064-246（通話料がかかります）

PHS やフリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合
TEL 06-6633-2990　FAX 06-6633-2992（通話料がかかります）


● **地上デジタル放送全般**についての質問は **Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）**にお問い合わせください。ウェブサイト（http://www.dpa.or.jp/）

● **アンテナ**について困ったときはお近くの**電器店**にお問い合わせください。

● **B-CAS カード**に関しては **B-CAS カスタマーセンター**にお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
**電話：0570-000-250　IP 電話：045-680-2868**
受付時間 10:00～20:00（年中無休）
ホームページ（http://www.b-cas.co.jp/）